

大宗建設工業 株式会社

DX宣言書

2024年7月19日
大宗建設工業 株式会社
代表取締役 望月 治

□ 経営理念

「先義後利」人・企業として道義を優先させ、お客様の立場に立った経営を目指す

□ DXビジョン(2～3年後にありたい姿)

- ◆ デジタル技術を活用した業務効率化に取り組み、労働生産性の向上や働き方改革を推進し、従業員全員にとって働きやすい職場環境を実現します
- ◆ 本取り組みを通じて、デジタル技術活用に対する従業員の意識向上を図り、従業員のアイデアによって会社をより良くしていく「楽しみながらDXに取り組む風土」を醸成します

□ DX戦略・施策

➤ フェーズ1(現在～2024年12月)

戦略 「デジタル人材育成及びグループウェア活用の段階的推進による、業務効率化への下地づくり」

- ◆ デジタル人材を育成し、DX推進に向けた体制を強化します
- ◆ 業務効率化に向けて、グループウェアの活用を段階的に推進します

施策 ・ ノーコード開発ツールでのアプリ開発に興味・関心があるメンバーから数名をDX推進チームの担当者に任命し、セミナーや研修、OJTを通じてアプリ開発スキルを育成
・ 従業員全員が利用する機能(スケジュール登録など)からグループウェアの利用を開始し、ITツールの業務利用へ向けた土壌づくりを実施
・ DX推進チームが中心となって、グループウェアの利用マニュアル作成やITツール利用に慣れていない従業員に対するフォローを実施

➤ フェーズ2(2025年1月～2026年6月)

戦略 「現場従業員を中心とした業務効率化による、働き方改革への挑戦」

- ◆ グループウェア・タブレット端末等の活用によるペーパーレス化、スムーズな情報共有、現場から本社への帰社頻度低減を実現することで、より働きやすい環境を実現します

施策 ・ ホワイトボードや紙で管理していた情報をグループウェアでの管理に移行し、各種社内情報を可視化(タスク管理、ファイル共有、メッセージのやり取りなど)
・ 帰社頻度を下げるために、各種申請関連業務を電子化
・ 外出先での作業効率化(リアルタイムな情報共有や紙媒体持ち運びの負担軽減等)のために、タブレット端末導入、及び紙のカタログや図面を電子化
・ ノーコード開発ツールを活用し、現場作業の効率化に必要な業務アプリケーションを開発

➤ フェーズ3(2026年7月～2027年6月)

戦略 「従業員全員が楽しみながらDX推進に取り組める仕組みづくり」

- ◆ 従業員が提案したアイデアが経営陣に届き、それによって会社や業務の進め方がより良くなっていると実感できる組織体制構築と企業文化の醸成を目指します

施策 ・ 社内全体で「チーム対抗DXアイデア大会」を実施
・ 業務効率化に大きく貢献する優秀なアイデアは社内表彰し、実現に向けた取り組み(ノーコード開発ツールでのアプリ開発等)を推進
・ DX推進チームを中心に、「従業員の声を集める活動」を定期的に行い、従業員が考える業務効率化への課題や解決策のアイデアが経営層に届き、実現までつなげる仕組みを構築

□ DX推進体制

- ・ 代表取締役がDX推進における実務執行統括責任者を務めます
- ・ DX推進チームがDX戦略実行の中心的役割を担います

□ DX推進目標

- ・ 時間外勤務時間 : 1人当たり平均10時間以内/月(～2027年6月)
- ・ デジタル人材^(※1) : 各部署1名以上(～2027年6月)
- ・ DXアイデア大会の開催 : 年1回以上(～2027年6月)

(※1)デジタル人材:当宣言書においては「ノーコード開発ツールにてアプリケーション開発が可能な人材」と定義